

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期に向けた方針、支援については以前より課題に掲げているが、職員の離職や入居者の入れ替わり等あり、都度マニュアルの見直しや研修等を行っていても未だ完全ではない為、今後も課題の重要点とし取り組んでいく必要がある。	施設としてマニュアルを完成させ職員ひとり一人が重度化や終末期、看取りに関してのケア方針を理解し対応出来る様にする事。	法人内研修に加え施設内でも定期的に研修を行い全職員の意識の向上を図り、施設として一環した対応方法をマニュアル化する。	12ヶ月
2	35	災害対策については、年々講習会や研修に参加し備蓄品も増えているが、訓練やマニュアルについては、万全とは言えず不安がある状態なので、今後も課題とし取り組む必要がある。	火災や水害、地震等の状況に応じた避難訓練を定期的に行うようにして職員の役割分担も常に見直し、災害時に全職員がスムーズに避難誘導出来る体制を整える事。	訓練に参加した事が無い職員が出ない様に、全職員がシミュレーションを繰り返し、年間を通じて定期的に訓練を行う。	12ヶ月
3	49	日常的な外出支援について、新型コロナウイルス感染症拡大により個々の希望に沿った支援が困難となり今後の課題にした。	入居者様の希望に沿った支援が、いつ何時も出来る様に対策等を予め準備して置く事。	感染対策に必要な物品の保管、また、外出先及び入居者様の個々の希望の情報シートを作成し全職員で情報を共有し、より良い支援が出来る様に取り組む。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。